



真龍小便い

【学校の教育目標】
 ☆心と体をきたえる子
 ☆美しい心をもつ子
 ☆考えて行動する子
 ☆生き生きと学ぶ子

No.5 令和6年7月23日発行

「自分の決断に自信を与えてくれるもの」

校長 斉藤直彦

「人生は選択の連続」という言葉は、何度か聞いたことがあると思います。「人はいろいろと迷いながらも、自分の人生を自分で切り開いていくものだ」という意味が込められているのかなあと私は捉えています。ということは、迷ったとしても、先に進んでいくためには、「自分で自分の生き方を決めて」いかななくてはなりません。「この生き方をする」という『決断をする』ということです。

「決断する」という言葉だと、少し、重たく感じるかもしれませんが、選択の先に必ず決断が待っていると考えると、私たちは、日常的に決断しながら生きているのかもしれません。

朝起きたら何をするのか。休み時間は何をして遊ぶのか。今日の家庭学習は何をするのか。などなど、決断とまではいなくても、「日常は自己決定の連続」とも言えます。ですが、時には、「この決断によっては、自分の人生が大きく変わる」という決断もありますよね。

例えば、高校への進学、就職、結婚、転職、子育て、などなど、たくさんあります。それぞれの場面で自信をもって決断できれば良いのですが、なかなか、簡単なものではありません。だから、人は迷いながら生きていくのではないのでしょうか。

では、その自分の決断に自信を与えてくれるものはないのでしょうか。

何かを決断をするときに、人はまず何をするのか。きっと、情報を集め、事実を知ろうと思います。進学先の高校を決める際にも、その高校の特色や場所などの情報であったり、自分の学力との関係であったり、もちろん、結婚するときには、相手のことをたくさん知りたい、お互いに理解したい、それも情報を集めて事実を知る、ということと同じことだと考えます。では、なぜそのようなことをするのか。

情報（事実）を知るといことは、私たちの決断に自信を与えてくれる。

どうせ決断するなら、しっかりと根拠をもって決断したい。そのほうが安心もするし、決断するまでのプロセスに納得も得られます。

ですから、どういう決断をしたのかという結果が大切なのではなく、この決断するに至るまで、どのように情報を集めて、どんな事実を知ろうとしたのか、というプロセスが大切なのだと私は考えます。

まとめると、自分の決断に自信と勇気を与えてくれるもの、それは事実を知る、知ろうとするプロセスである。このように私は考えています。

今年度の真龍小学校の重点課題（テーマ）は、「プロセスに納得を求める子どもの育成」ですが、これに、かかわるテーマで、今月号では書かせていただきました。ちょっとややこしい話題だったかもしれませんが、最後まで読んでいただいております。ありがとうございました。

日	曜	8月の主な行事
1	木	
2	金	
3	土	
4	日	
5	月	
6	火	
7	水	
8	木	
9	金	学校閉庁日
10	土	
11	日	
12	月	山の日
13	火	学校閉庁日
14	水	学校閉庁日
15	木	学校閉庁日
16	金	
17	土	
18	日	
19	月	
20	火	通常日課 講話朝会 前期第2ステージ開始
21	水	ALT 着任式 街頭指導～22日 水泳教室（3・4年）児童委員会⑥ 夏休み作品展（～8月27日）
22	木	短縮日課 水泳教室（2・5年）
23	金	短縮日課 水泳教室（1・6年）
24	土	
25	日	
26	月	児童朝会（美化委員会） 計算力テスト（～30日） 生活リズムチェック週間（～1日）
27	火	短縮日課 2年霧多布温泉センター見学
28	水	クラブ②
29	木	短縮日課
30	金	短縮日課 6年劇団四季ミュージカル鑑賞
31	土	

8月の帰宅時刻 18:00

児童の下校時刻に合わせて、また夏冬春休み中は日中家の外に出て、庭作業や掃除などを行いながら、同時に児童の見守りを行う「ながら見守り」への協力をお願い致します。

ますます充実！真龍小学校のふるさと教育

今年度、本校では厚岸の自然や伝統等について学ぶふるさと教育の推進に努めております。その一部を紹介します。

厚岸の伝統・文化(港まつり)

7月5日(金)、3年生から6年生までの子ども達が、厚岸港まつり市中パレードに参加しました。役場前から厚岸駅方面に向けて、厚岸音頭を踊りながら練り歩きました。子ども達は元気よく、堂々と踊っていました。保護者の皆様をはじめ、沿道で観覧していた多くの方々から、温かい声援や拍手を頂きました。踊り終えた子ども達から『踊りよかったよ』と声をかけてもらってうれしかった』といった感想が聞かれました。暑い中沿道で子ども達の頑張りを見守ってくださった保護者や地域の皆様、ありがとうございました。

また、今年初めてパレードに参加した3年生では、厚岸音頭の練習を始める前に港まつり実行担当の役場の方々を講師としてお招きし、厚岸音頭の成り立ちや歌詞に込められた思いなどについて教えていただきました。また、厚岸音頭を教えていただいた踊りの先生方には、踊る際の気持ちや心構えなどについて、子ども達がインタビューする場面もありました。

厚岸音頭を通じて、地域の伝統を受け継いでいくことの大切さや、ふるさと厚岸を愛する心を育む貴重な機会となりました。厚岸音頭を教えてくださった踊りの先生方、子ども達の為に様々な配慮をしてくださった役場の方々、本当にありがとうございました。

厚岸の自然(森林)

4年生では、「守ろう厚岸の自然」をテーマに、主に総合的な学習の時間にふるさと教育を進めています。その一環として、7月4日(木)、森林環境学習を行いました。釧路総合振興局林務課の皆様のご協力のもと、あやめヶ原付近の森林に入り、樹木の直径や高さ等を調査する「森の健康調査」を体験しました。森の中で木に触れながら説明を聞いたり、測定体験したりすることで、森林の働きや木を育てることの大切さについて学ぶことができました。

厚岸の海と森林は、お互いに影響を与え合い、密接につながっています。厚岸の豊かな自然を守るために自分たちに何ができるか、今回の貴重な体験を生かして、今後は子ども達自身が考えを深めていきます。



ふるさと教育は、子ども達が地域社会の一員としての自覚を持ち、主体的に社会に関わる力を育むのに効果的です。今後も、地域の皆様と連携し、子ども達がふるさと厚岸とのつながりを意識できるような教育活動に努めてまいります。

ALT コール先生離任式

外国語 ALT のコール先生が、今月末をもって勤務期間を終え、厚岸町を去られることとなりました。本校最終日となった7月22日には全校朝会で離任式を行い、最後のお別れをしました。コール先生には、外国語の授業を通して英語の楽しさを教えていただきました。ありがとうございました。

熱中症予防情報サイトのお知らせと活用のお願い

学校では、環境省の「熱中症予防情報サイト」に掲載されている情報をもとに熱中症対策を実施しています。全国の暑さ指数(WBGT)が確認でき、本校に一番近い観測地は「太田(釧路)」です。夏休み期間中は各ご家庭でもこのサイトを活用し、熱中症対策やその日の行動判断に役立てていただければと思います。

推奨される外遊び時の熱中症対策

- ①帽子の着用
- ②水筒の持参
- ③クールネック等冷却グッズの使用
- ④「暑さ指数31以上(赤)危険」の時間帯は、外遊びを控える。等



出典:環境省熱中症予防情報サイト(<https://www.wbgt.env.go.jp>)

学校閉庁日のお知らせ

8月9日(金)、13日(火)、14日(水)、15日(木)の4日間、学校閉庁日となっております。詳しくは、本日配付しました別紙文書にてご確認ください。

緊急連絡体制について

夏休み中、上記学校閉庁日や、土曜・日曜・祝日に、交通事故などが起こり学校へ緊急連絡が必要な場合には、厚岸町役場(52-3131)まで連絡をしてください。役場から、校長または教頭へ連絡が入ることとなっています。なおその際は、「①保護者の氏名 ②連絡先電話番号 ③学校名 ④児童の氏名、学年・組」を、忘れずにお伝えください。

真龍おはなし隊・学校司書の【今月のおすすめ本】

『そんなことも知らないの?』

パク・ジョンソプ/作(フレーベル館)

真龍おはなし隊 林 麻弓

真龍おはなし隊の読み聞かせ活動に参加して、6年目になります。毎回、子どもたちの様子を思い浮かべながら、本を選ぶのも楽しみのひとつです。先月読み聞かせをした本の中から、1冊ご紹介します。

小さな魚の群れが主人公というところが、教科書に載っている『スイミー』と似ていますが、こちらの魚たちは、敵のアンコウのついたもっともらしい嘘を信じることで、仲間と離ればなれになってしまいます。

「そんなことも知らないの?」と言われて、「ぼくがかぜだなんて・・・」と小さくつぶやく黄色い魚。周囲の声を頼りにして、自分で考えることを止めてしまうことの危うさは、大人にこそ響くかも知れません。

最後にみんなが笑顔になるエンディングが待っているので安心して読めますが、裏表紙に書かれた強者と弱者の力関係のバリエーションに唖らせられるのも、年長者だからでしょうか。

子どもたちが何を感じたのか、どんなことでもそれはすばらしい気づきだと、この活動を通して深く知りました。夏の夜に、お子さんと本の感想を語り合うなんてどうでしょう。釧路市図書館からお借りしました。

※厚岸情報館に所蔵があります。

